

地研ニューズレター

ISSN 1882-4218

目次

◇地域貢献産業交流事業(物産展)開催決定	1
青森まるっとよいどころ祭りー青森ひみつ発県! リンゴだけじゃねえべ?ー	
◇2014年度地域研究センタープロジェクト一覧／新任研究員のご紹介	2
◇2013年度地域研究センタープロジェクト報告	3
◇外国語会話講座のご案内	3
◇2014年度公開講座のご案内	4

地域貢献産業交流事業(物産展)開催決定 青森まるっとよいどころ祭りー青森ひみつ発県! リンゴだけじゃねえべ?ー

2014年10月4日(土)青森市新町商店街において、本学主催、新町商店街振興組合後援、香取薫(学長兼地域研究センター長)研究室プロデュースの物産展『青森まるっとよいどころ祭りー青森ひみつ発県! リンゴだけじゃねえべ?ー』を開催することが決定しました。本学が地域連携協定を結ぶ、佐井村、七戸町、西目屋村をはじめ、その他県内関連自治体のご協力の下、魅力ある自慢の県産品等が歩行者天国に一堂に集まる予定です。なお、同日には新町商店街振興組合主催ハロウィンパレード&セールも併催され、連携して実施されます。

本事業のスタートに際し、2014年6月17日(火)に、新町商店街振興組合の皆様へ香取研究室の学生から本事業について企画説明を行いました。学生を代表して、本学経営経済学部地域みらい学科4年 田中大輔さんが「私たちは、日々、研究活動のため青森県内の様々な地域へ行き、数多くの知られていない魅力に触れています。しかし一方で、それが県内の方々にさえ十分に知られていないことを感じていました。私たちはこの現状を少しでも改善したいと考えており、その機会を探していました。そして昨年度、県内外の商店街を調査する機会を得て、その結果を基に大学や学生が主体性をもって地域貢献する方法を検討しました。その具体的な取り組みとして、『青森まるっとよいどころ祭り』の発案に至りました。」と開催の経緯を説明しました。

また、キャッチコピーを「青森ひみつ発県! リンゴだけじゃねえべ?」に決定したことも発表されました。決定までには、研究室の12名の学生が議論を重ね、のべ30以上の案が検討されました。キャッチコピーには、「青森県の魅力を『発信』し、青森県の新たな価値・魅力を『発見』していただきたいという想い」が込められており、「青森市の中心市街地でまるで青森県を旅しているような気分を味わっていただくための企画」を準備しています。

本事業は、中心市街地活性化に向けて、本学が主体的に地域貢献に取り組んでいく地域連携事業の一つである地域貢献産業交流事業に位置づけられています。

香取研究室では、昨年度から中心市街地活性化に向けた調査研究を続けており、その成果を具体的な提案として示すために本事業を進めています。



新町商店街で企画を説明する本学学生



開催が決定した時の様子

(左から)香取薫学長兼地域研究センター長、地域みらい学科4年 田中大輔さん、同2年大淵真さん、新町商店街振興組合青年部長 内藤亘さん

2014年度地域研究センタープロジェクト一覧

地域研究センターで今年度予定されている各種事業・研究についてご紹介いたします。

◇地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究Ⅱ

佐井村見守りシステムにかかる地域ハイブリットコンテンツ配信手法の研究により得られた成果を実装し、地域のために役立たせるための調査、研究です。2014年度は、携帯に特化したコンテンツの実装・評価を行う予定です。

◇地域文化教育に関する情報発信～青森県の人材(人財)養成～

青森県の人材(人財)を養成するための事業です。地域資源とも言うべき、地域文化を外にむけ発信することによって、市民、県民に対して貢献できる体制を構築する事業を継続中です。

◇地域研究センター情報発信事業

地域研究センターが、大学と地域社会を媒介し、大学の知的資源を積極的に地域社会へ還元するために、日ごろの実践活動や調査研究活動の成果を積極的に発信します。本紙「地研ニューズレター」の発行もその一環です。

◇eガバナンス・地域ビジネスモデルの創造～アプリ活用の地域活性化ネットワーク戦略～

昨年度実施したガバナンス(統治)の視点から行う研究を地域活性化及び情報ネットワーク論、地域ビジネス論の観点から、さらに深化発展させることを目的とした研究です。

◇ストーリーとしての地域づくり協働戦略の研究

～米国、アジア諸国等における国際的实践を踏まえて～

昨年度のパブリック・イノベーションに続き、さらに問題意識を発展させ、「ストーリーとしての経営戦略論」の観点を活用しつつ、国際的視野から地域づくりについて研究します。

◇自治体における原価計算システム及び監査システムの研究

昨年度の「自治体の経営会計システムの研究」を踏まえ、自治体の経営会計システムの中で中核的な分野である「自治体における原価計算システム及び監査システムの構築」を目的とした研究です。

◇地域活性化の「主体」をめぐる比較言語・文化・社会学的考察Ⅰ

地域活性化の主体について、いかなる担い手が効果的な地域活性化につながりうるか、文化間・国家間で地域活性化の主体をめぐる議論の多様性を明らかにし、今後の青森地域をはじめとする日本の地域活性化を、より効果的に推進しうる主体を研究します。

◇持続可能な鉄道と地域社会創造プロジェクト

「地方鉄道の再生と地域の活性化」をテーマに、鉄道会社をはじめとして、沿線自治体、沿線住民らが協働することによって地方鉄道を持続可能な鉄道にしていくための調査・研究です。

◇平内町出身の英文筆家 佐々木多門をテーマにした 英語科リーディング教材の開発に関する研究Ⅰ

青森県平内町出身の英文筆家佐々木多門の業績について、国内外の文献を発掘・調査し、その歴史的価値を検証し、さらにそれを英訳して中学校・高等学校英語科用のリーディング教材を作成するための研究です。

新任研究員のご紹介

今年度から地域研究センター研究員として、お世話になります。母校である青森公立大学において、地域の皆様のために活動できることを非常に嬉しく思います。地域に関する調査・研究の他、講師をしている外国語会話講座を通して、地域の交流促進、発展に少しでも貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



【専任研究員】中西 廣

2013年度地域研究センタープロジェクト報告

地域研究をめぐる言説に関する言語・文化・社会学的考察Ⅱ

—組織論的アプローチを援用して—

昨年度実施されたプロジェクトの中から、ピックアップしてご報告致します。

2012年度から始めた本研究の目的は、異文化的・多文化的背景をもつ幾つかの地域(主に、米国・ヨーロッパ・アジア)における地域研究の変遷を、その通時性・共時性双方の側面に留意しながら、使用言語、文化的背景を因子ととらえ、比較研究することである。当初は、主に北米地域、特に北東部(コネチカット州、マサチューセッツ州)と日本国内における地域研究の変遷と地域活性化をめぐる言説について研究を行った。

2013年度は、上記のアプローチに加えて、region を1つの organization としてとらえて「組織学習としての地域活性化」をテーマとして研究・調査を進めた。これと並行して英国を足がかりに「ヨーロッパ地域における地域活性化」に焦点を当てた。訪問先であるスターリング大学(英国・スコットランド地方)では組織学習構造の一環として、語学クラスにおけるクラス編成の効果についても調査・討論を行い、高等教育における、ひいては本学におけるより効果的な外国語学修・組織学習についての問題提起ならびに検証を行った。

これらの研究成果は、日本経営学会、経営学史学会、日本実用英語学会等で発表するとともに、『The Annual Bulletin of The society for the History of Management Theories』、『地域文化教育学会論叢』等にも投稿、掲載されている。
(研究責任者：地域研究センター研究員 香取真理)

外国語会話講座のご案内

ご好評いただいている外国語会話講座を8月から順次、青森公立大学キャンパスにて開講致します。

本年度は、昨年度ご好評いただいた「TOEIC 対策」に500点を目指すコースを新たに追加し、全6講座を開講致します。受講料はいずれも無料でご参加いただけます。(ただし、初回にテキスト代をいただく講座もございます。)

申し込み方法等の詳細はポスター、チラシまたは青森公立大学地域連携センターホームページをご覧ください。

	コ ー ス	内 容	日 程	対象・定員
①	観光英語 初 級	観光・旅行業に必要な 初歩的英会話	9月6日(土)～9月27日(土) 毎土曜日 9:00～10:30 全4回	社会人・学生・一般 定員：各 10 名程度 (先着順)
②	観光英語 中・上 級	観光・旅行業に必要な 実践的英会話	9月20日(土)～11月1日(土) 毎土曜日 13:00～14:00 全6回(10月11日除く)	
③	ビジネスイングリッシュ 初 級	ビジネス場面に必要な 初歩的英会話	9月6日(土)～9月27日(土) 毎土曜日 10:40～12:10 全4回	
④	ビジネスイングリッシュ 中・上 級	ビジネス場面に必要な 実践的英会話	9月20日(土)～11月1日(土) 毎土曜日 14:10～15:10 全6回(10月11日除く)	
⑤	TOEIC対策 500点	TOEIC500点を 目指すコース	8月9日(土)～10月4日(土) 毎土曜日 13:00～14:30 全8回(8月30日除く)	
⑥	TOEIC対策 700点	TOEIC700点を 目指すコース	9月6日(土)～9月27日(土) 毎土曜日 9:00～10:30 全4回	

2014年度公開講座のご案内

2014年度は、下記の公開講座を予定しています。無料で受講することができますので奮ってご参加ください。なお、申し込み方法等の詳細は、ポスター、チラシまたは青森公立大学地域連携センターホームページをご覧ください。

場所 アウガ5階 男女共同参画プラザ研修室
対象 一般社会人・学部生・大学院生・高校生

時間 18時30分～20時30分(人間の探求は20時15分)
定員 各回50名程度(先着順)

人間の探求Ⅳ ―心理学と仏教から―

第1回	9月16日(火)	ミャンマーの人々の暮らしと仏教	第3回	11月 6日(木)	物覚えと学びの心理学
第2回	9月25日(木)	ミャンマーの瞑想	第4回	11月14日(金)	少年犯罪は増えている? 思い込みからの脱却

青森のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える

―青森の『グローバル化』と『ローカル化』の共存・共栄を目指して提言する―

第1回	9月30日(火)	青森の教育のグローバル化に 向けての課題設定と その解決策を考える	第4回	10月21日(火)	青森の農業のグローバル化に 向けての課題設定と 解決策を考える
第2回	10月 7日(火)	青森の貿易のグローバル化に 向けての課題設定と その解決策を考える	第5回	10月28日(火)	青森の産業のグローバル化に 向けての課題設定と その解決策を考える
第3回	10月14日(火)	青森の観光のグローバル化に 向けての課題設定と その解決策を考える	第6回	11月18日(火)	青森の自治体のグローバル化 の課題設定と解決策を考える

「財務諸表・決算書の読解力・分析力」を育成する

―財務諸表・決算書は経営情報の宝庫である―

第1回	12月 2日(火)	財務諸表・決算書の 読み方を学ぶ	第4回	12月11日(木)	成長企業・倒産企業の財務諸表から 経営分析の活かし方を学ぶ
第2回	12月 4日(木)	財務諸表・決算書の 分析の仕方を学ぶ	第5回	12月16日(火)	ホームセンター業界の財務諸表から 経営分析を学ぶ
第3回	12月 9日(火)	キャッシュフローから 経営財務戦略を学ぶ			

多目的サテライト 青森公立大学まちなかラボ



本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口として、ご利用下さい。経営相談も承ります。

〒030-0801 青森市新町 1-3-7 青森駅前再開発ビル(アウガ)6階
電話：017-718-7025 Fax：017-776-2082
E-mail：lab@bb.nebuta.ac.jp
http://www.nebuta.ac.jp/chiken/machinaka-lab/
開室時間 13:00～21:00
(毎週日曜日、年末年始、アウガ全館休館日、5～8階公共施設休館日は、休業いたします。)